

空手

カラテ・ネットワーク

NETWORK

2009

3/31 TUE.

No.15

発行/山形県空手道連盟
制作/山形県空手道連盟普及部

第16回全国中学生空手道選手権大会が長崎県で開催されました。全国中学校空手道連盟は平成7年に結成され「空手道を日本中体連の正式種目に」との悲願のもとに、大会は、回を重ねるたびに充実し、今や空手道を志す中学生の最大の目標と位置付けられるまでになりました。また今大会は、極めて重要な、かつ歴史的な大会でした。大会史上、初めて九州中学校体育連盟空手道競技専門部の主管によって運営されるという、空手道競技が中体連全国加盟へと大きな一歩を踏み出す記念すべき大会となりました。

この記念すべき大会において、県代表選手は、女子個人形準優勝、男子団体形にて第三位、団体組手は男女とも第五位入賞を果たし、全中参加十三年目にして、これまで最高の輝かしい戦績を残すことができました。

この記念すべき大会において、県代表選手は、女子個人形準優勝、男子団体形にて第三位、団体組手は男女とも第五位入賞を果たし、全中参加十三年目にして、これまで最高の輝かしい戦績を残すことができました。



組み第4回大会より連続出場している日新中学校を筆頭とした中学生諸君の連綿と続いた挑戦が実を結んだ結果だと高く評価しています。

準優勝の坂上愛選手について振り返ってみよう。

決勝戦も互いにスーパーを打ち見応えのある決勝戦となったが惜しくも「対四で準優勝に留まった。坂上は今大会、最高の形を打ち、判定は「対四」と開いたが内容的には互角といえる試合でした。

●男子団体形 第三位

日新中学校

●男子団体組手 第五位

日新中学校

●女子団体組手 第五位

新庄中学校

国分円香、小林穂薫、荒川悠奈



全国中学生空手道選手権大会

■とき/平成20年8月23～24日
■場所/長崎県大村市シーハット大村

「全国中学生大会」県選手大活躍。悲願の優勝まであと一歩！
坂上愛選手(舟形中学校)女子形準優勝！



↑男子団体形 第三位 日新中学校



↑男子団体組手 第五位 日新中学校



↑女子団体組手 第五位 新庄中学校

山形県空手道連盟総会開催！

とき／平成21年2月1日(日)
場所／山形県スポーツ会館

平成21年度総会は、飛鳥会長、齊藤・田鎖副会長の出席のもと、平成20年度事業報告、決算報告が行われ、昨年度を振り返り、関係各位へのねぎらいの言葉と新年度へ向けた課題などを明確にした。またそれぞれの事業について理事長、事務局、各事業本部より説明が行われ、活発な質疑のあといずれも異議なく承認されました。



会長 飛鳥 宗一郎

全国中学生選手権大会での大活躍「やればできる」「成せばなる」です。

前年度も精一杯、選手の強化をはじめ、諸活動の推進に努めてまいりましたが、本日の総会では、前年度の報告と、新年度いかに活性化をはかるかという事項について、皆さんと討議して参りたいと思っております。

昨年、4月に開設しました県連盟の公認ホームページが、約11,000件の検索がありました。この件につきまして担当して頂いている山村理事にこの場を借りて御礼を申し上げます。新年度は新たな役員を補充しさらに皆さんが有意義に活用できるよう情報発信してまいります。

次に、ジュニア選手強化の施策として、小中学生を対象にした山形県ジュニアアカデミーを開講いたしました。9月〜11月までに4回開講いたしました。私に感想が寄せられ、参加する前は、中学校に入学してから空手を続けるかどうか、色々悩んでいましたが、アカデミーに参加して中学校に行つてからも続けるといっ



理事長・本部長 深瀬 久男

昨年の東北総体の成績を真摯に受け止め、今年、三位以内を目指す。

昨年は、東北総体が6年ぶりに本県で開催されました。教育委員の方々をはじめ、多くの皆様の協力を得て、大きなトラブル、事故もなく順調に終了することができました。期待を持って臨んだ大会ではありましたが、総合5位という、今までにない成績で屈辱を味わったのは、皆様もご承知の事と思います。私たちは、この成績が現在の山形の力であるという事を真摯に受け止める必要があります。この一年、県連が一丸となって選手強化に取り組みなければ、この危機から脱出できないのではと、私は、危機感を感じていました。今年は、青森県で開催されます。この大会では、三位以内を目指したいと思っております。

その様な中で、昨年10月の大分国体では、東海山形の浅野選手が少年男子組手で唯一、五位入賞。また全国中学生空手道選手権大会では、舟形中の坂上愛選手が女子形の部において準優勝。男子組手団体戦3位。男子団体形5位、女子団体組手5位と素晴らしい成果を成し遂げてくれました。



▲山形で開催された東北総体開会式

普及本部 事業計画

- ① ネットワーク16号の発行
- ② 技術講習会の実施
4月19日(日)
- ③ 公認段位審査会の実施
春季5月10日(日)
冬季12月6日(日)
- ④ 中体連加盟活動の推進
- ⑤ 県連ホームページの管理運営

競技本部 事業計画

- ① 審判養成事業
4月11日(土)〜12日(日)
東京武道館
- ② 山形県空手道連盟審判講習会
4月26日(日) 県審判員新規試験及びランク試験
12月6日(日) 県審判員新規試験
- ③ 県内各種大会の記録及び結果の保管
- ④ 県連主催事業、各種大会実行委員会への参加、協力
- ⑤ 全空連公認資格取得への促進
- ⑥ 国体・東北総体への参加審判員・役員・コーチ派遣

強化本部 事業計画

- ① 国体、東北大会、全日本選手権、代表選手の強化
- ② ジュニア組手強化指定選手、中学生の選手強化
- ③ 第二回山形県ジュニア空手道アカデミーの開講

※強化練習の予定日は、HPにて確認してください。

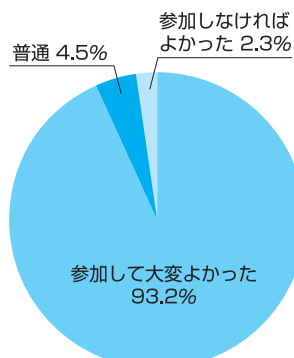
アンケート結果

組手の部52名、形の部54名が受講しました。
参加して良かったと答えた人が、

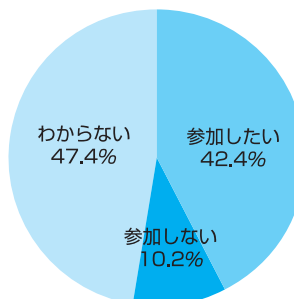
92%

でした。

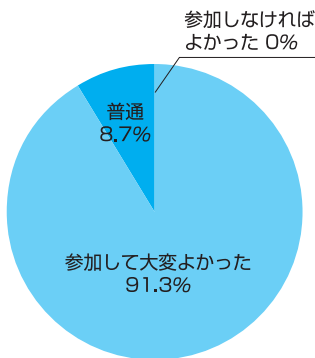
濱藤隆夫
強化本部長



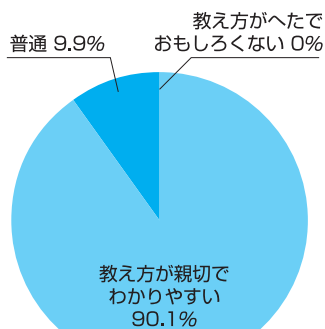
1. 組手レベルアップの部に
参加してどう思いましたか？



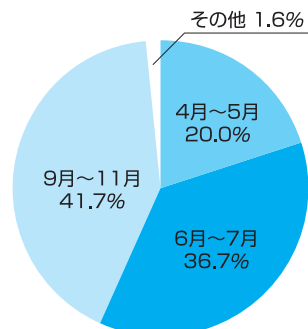
3. 来年も開催しますが、あなたは
参加しますか？



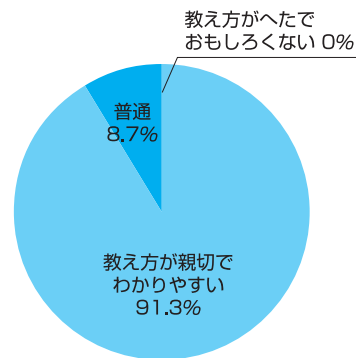
5. あなたは形レベルアップの
部に参加してどう思いま
したか？



2. 組手指導者の先生方は
どうでしたか？



4. 来年の開催月は何月頃が
良いと思いますか？



6. 形指導者の先生方は
どうでしたか？

第1回 山形県ジュニア 空手道アカデミー開講

ジュニア選手の強化育成を目標に、組手レベルアップの部、形レベルアップの部に分かれて実施されました。

平成20年9月14日・10月12日・11月1日・11月23日の計4回、県内ジュニア選手の全体的なレベルアップを目指すとともに、山形県空手道連盟の未来を担うトップアスリート育成を目的に、県連技術本部員および強化本部員が講師となり組手と形の技術講習会を県総合運動公園を会場に4回にわたり開催。小学生5・6年生・中学生合わせて組手の部52名、形の部54名が受講しました。

受講者のアンケートの結果では、参加して良かったと回答した人は約92%。特に保護者の方々からの評価も高く、来年も必ずアカデミーを開催して欲しいという要望が多数ありました。



アカデミーで心と体を鍛えよう！

第2回 山形県ジュニア空手道アカデミー

日時:9月(現在日程調整中)・10月11日(日)・11月1日(日)

会場:山形県総合運動公園・総合体育館剣道場

※実施要項、受講申込書は6月中旬に県連所属団体責任者までお届けします。

2009年度
開講決定！

崇武館新庄支部 土田道場（通称）

目標は「二から日本一を目指す」

自由に練習できる自分たちの道場が欲しい！長年の夢であった、皆の想いを形にしたのが土田道場である。全国大会で活躍する選手育成の源になっている道場の稽古方針などを、土田秀也副支部長にお話しをお聴きしました。

●空手をはじめたキッカケは？

出身は新庄ですが、下宿をして山形市内の高校に通っていました。

空手を始めた動機は、とにかく武道がしたい。本当は柔道がやりたいかたのですが、医学部へ入りたいという目標があったので、柔道部には入らず、崇武館本部へ通っていました。

その後、医学部入学と同時に柔道部に入部、そこで6年間柔道をやりました。

空手を再開したのは、子どもが空手を習い始めて最初送り迎えをしていて二年目頃から一緒に始めました。

●個人で道場を建てようと思われたのはなぜですか？

道場を建てたのが8年前です。当時は、全国錬成大会が二番の目標でした。

その頃、練習に使えるのが公民館しかなくて、大会前の強化練習は、スパーの駐車場を借りて、夏の最中、昼間から練習をしていました。

役員とか父兄の中から「自分たちの道場が欲しい」という強い要望があつて、8年前に医院と自宅を新築するのを機会に道場を併設しました。目標は、「二から日本一を出そう！」です。

●日本一に向けて、

どんな道のりがありましたか？

日本一の目標に向かって、あの頃は、五、六人の生徒を選抜して、2、3時間ぶつ続けて練習するという厳しい内容でした。今、あの子たちから言わせると、「今の練習は非常に甘い。俺たちは本気で日本を目指していたんだ」と言っています。最初は、和道会の東北大会にでるのが精一杯でしたが、東北大会で優勝者が何名も出て、全国大会でベスト8に入るようになり、三年目には、悲願の和道会全国優勝をすることができました。

そして全国中学生空手道選手権大会の岡山大会で明倫中の団体組手がベスト8に入り、それからずっと個人、団体ともにベスト8には必ず入るようになってきました。まさかここまでこれとは思わなかったんですが、「全国大会でベスト8は当たり前だ」という意識

に選手も指導者も変わってききました。

●大切にしている指導方針は？

考えさせること。自分の中で昨日の練習よりも、今日の練習の方が、スキルの上がっているかどうか。例えば突き蹴りを本数を決めずに20分間やる。自分が目標とするパワーやスピードを考えさせる。見ていて、「あ、ちょっと足りないな」と感じて時に声を掛けるんです。

目的を明確にして、できる限り考えさせ理論的に指導する。いくらがんばれと言っても「なんのためにやるのか」納得しなければ選手は動きません。納得すれば、初めて自分で自主トレができるようになるんです。

●練習は裏切らない。坂上選手に学ぶこと

伸びている子は練習ノートを書きちゃんと付けています。それを徹底的にやり抜いたのが坂上愛選手です。愛ちゃんは、教わった通りに練習して、その日できなかつた事が、自主トレをして次の練習ではできるようになっているんです。またある段階まで来るとうまくいかない時がある。そうすると前の段階に戻して練習をする。できるようにしなければ次の段階へ、またできないときは戻ってと着実に技を身に付けていきます。

よく言われる事ですが「練習は裏切らない」と。ベスト8まで入ってくる選手は、それぞれが優勝を狙える実力ある選手です。その中で常に「自分は優勝するんだ」という強い意識を持っている選手しか優勝できません。その念の強さ、気迫が勝敗を決めるのだと思います。

今回、坂上愛選手が初めて決勝のコートに登って、結果は4-1でしたが、スピードとかパワーでは坂上の方が勝つていたと感じました。つまり「これぐらいの練習をすれば全国は取れるんだ」という事を実感しました。

坂上選手は、決勝戦の日、朝5時に起きて「なんかどうも決まらない」と言っていて、二時間ホテルの廊下で基本、移動を汗だくになるまでやってから、なんとなく「あーわかった」と言っていてそれから試合に臨んだそうです。

●特別な練習はしていますが週一回は、空手の突き蹴りを二回やらす、スポーツトレーニングを招いてトレーニングをしています。サーキットトレーニングを主に筋力とスタミナを養います。意識してバランスよく筋肉を鍛える。そうすると組手でも軸がぶれない。どんな体制になってもすぐに体を戻せる。その効果は、非常に大きいですね。

●強さの秘密はなんですか？

そうですね…。練習量や環境もありますが、今まで先輩達が築いてきた考え方ですね。自分たちは、全国大会ベスト8は当たり前という意識が非常に大きいと思います。そして一人のヒーローはつくりません。必ず対抗する人間、ライバルを道場内に意識的につくる。すると安閑としていられない。「切磋琢磨」これが伝統的な支部長方針です。

●次の目標は、全中優勝！

今のところは、ベスト8に入れるかどうかということなんです。ただ中学生というのは、最後の二か月前くらいになるとぐっと伸びるという事があるので、まだこれから十分間に合いますよ。

●土田先生が練習を通して伝えたいこと

多分、今は役に立つことが自覚はしてないと思いますが、社会に出た時に空手の経験を通して、社会人として仕事でも使える考え方を指導していきましょう。

●普段は、土田医院の院長。5人の子供たちが全員空手をやり、それぞれが公式試合で輝かしい戦績を残しています。『強制したことは、二度もありません』家族旅行は、空手の大会でした。自然と空手をやる環境にあつたのかも知れませんが、土田副支部長の指導方針を一言でいえる「思春期の空手」。科学的で理にかなった指導を行っています。全国中学生大会での日本一期待しています。



▲指導中の土田副支部長



全国中学生空手道選手権大会準優勝までの 坂上愛選手のあゆみ

「夢は、目指したときから 目標に変わる。」

ここで準優勝までの坂上選手の歩みを紹介します。中学一年生にて県代表となり、初出場の京都の大会では一回戦敗退、二年生になり雪辱を期すが県予選でつまづき代表を逃した。一年生から三回連続出場し、順位を上げて三年生で勝負をかけようと考えていた私の目論見は外れてしま

った。しかし、坂上はこれから全中優勝を目指し、歩み始めたのです。吹奏楽部の部活を辞め、空手一本に絞り、代表になれなかった千葉の全中大会に「観客として観戦したのでした。この時の彼女の心中は察するに余りあるものがあります。それからの彼女はしっかりと目標を見据え、

今為すべき事を確実にこなし、新庄支部の練習のない日は近くの公民館で自主練習を続けた。それも納得のゆくまで繰り返し、真剣そのものである。中学生でここまで厳しく自主練習が出来るのかと感嘆したものです。

また、剛柔流の形を宮城の小斉先生に指導を仰ぎ、適切な熱いご指導のもと花開いたものと切に思います。団体戦の日新中、明倫中への入賞も選手の健闘もさる事ながら、最北中体連の全面的なバックアップも大きな力となりました。中体連の各中学校に心より感謝します。空手道を志す小中学生諸君、目標高く日々の稽古に励みましよう！

シニア強化担当 菊地健治

坂上 愛 女子個人形準優勝



①実感がなかったけど、とても嬉しくて涙が出ました。「自分を支えてくれたすべての人に感謝」という想いが一番強かったです!!②毎日3時間～4時間くらい③保育所の年長の冬です。④兄が空手をしていたので、やりたいと思ったからです。⑤バックスイ大⑥全力⑦何事にも精一杯取り組み、頂点を目指すことです。⑧本当に支えてくださったみなさん、ありがとうございました。これからいろいろなことに挑戦していきたいと思います。

伊藤 秀



男子団体形第三位、男子団体組手第五位

①入賞できた事は嬉しかったけど、優勝ができずやしかった。②ほぼ毎日③小学校1年生④親にすすめられて練習を見学しに行ったから。⑤形はバックスイ大、得意な技は中段蹴り(回し蹴り)⑥努力です⑦後輩たちに全国制覇してもらう様に指導する。⑧自分たちのために必死に教えてくれてありがとうございました。

叶内奨也



男子団体形第三位、男子団体組手第五位

①くやしかったです。でも今はその賞の価値を知りびっくりしています。②毎日練習しました。③小学校1年生の4月④親にすすめられて、先輩方がしている姿を見て一目惚れました。⑤形アーナ、組手→上段蹴り⑥勝ちたかったら勝負する。負けたくないから努力する。⑦全国制覇⑧応援ありがとうございました。これからも目標達成のために精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

福井寛正



男子団体形第三位

①自分が3位を獲ったという実感が湧かなかったが、冷静になってみるととてもうれしかった。②毎日2時間くらい③小学2年生④親にすすめられて⑤バックスイ大⑥あきらめない⑦全国優勝を目指しがんばる。⑧ありがとうございました。

伊藤悠希



男子団体形第三位

①とてもうれしかったです。②ほぼ毎日2時間くらい③小学校4年生の終わりのころから④友達ややっていて面白そうだったし、もっと強くなりました。⑤バックスイ大⑥挑戦⑦全中に出てたくさん練習、上位入賞できるようにがんばる。⑧今まで本当にありがとうございました。

草刈建人



男子団体組手第五位

①練習してきた成果があったと思ううれしかった。②ほぼ毎日③6年④兄がやっていたから⑤上段突き⑥勝ち⑦多くの大会で入賞する⑧ありがたい

国分円香



女子団体組手第五位

①最初は実感がわかなかったのですが、とても嬉しかったです。②ほぼ毎日③5歳④道場に見学に行き、そこで練習していた先輩がすごくかっこよくて輝いていたから、自分もやりたいと思いました。⑤バックスイ大・中段突き⑥「勝利は苦しさを超えて」⑦高校でも空手を続けるので、今よりももっと強くなって、インターハイに1年生から出場し、出場するだけでなく優勝したい。⑧応援してくれた方々が私を支えてくれたからできた結果です。自分1人で空手をやっているのではないとあらためて感じました。本当にありがとうございました。

全国大会 入賞者 インタビュー

- ① 全国大会入賞！そのときの感想は？
- ② 大会までにどれくらいの練習をしましたか？
- ③ 空手をはじめたのはいつからですか？
- ④ 空手をはじめたキッカケは？
- ⑤ 得意な技・形は？
- ⑥ 座右の銘・好きな言葉は？
- ⑦ これからの目標はなんですか？
- ⑧ 応援してくれた皆さんに一言！

小林穂薫



女子団体組手第五位

①めっちゃ嬉しく、楽しかった!!②大会まではほとんど毎日。③幼稚園の年中からです。④強くなりたいと言ったら親が紹介してくれました。⑤組手では中段突きです。⑥「一生懸命」「きれいな花が咲きました。見えない根っこです」という言葉が大スキです。⑦大スキな空手を続け、1年でインハイ出場し入賞すること。⑧ほんとに、ありがとうじゃ伝えきれないけど、ありがとう!!

佐藤麻美



女子団体組手第五位

①やったー！めっちゃうれし!!②夏休みの全てをつぎこみました。③小学校1年生の夏④友人の紹介から⑤バックスイ大⑥智計詭術⑦高校生活を楽しく過ごし、部活と勉強の両立。⑧言葉では言い表せませんが、とても感謝しています。たくさんの人にお礼を言いたいです。

荒川悠奈



女子団体組手第五位

①自分は補欠で実際に試合には出ていなかったけど、入賞したときは自分のことのように嬉しかった。②大会前はみんなでもほぼ毎日2時間くらい③小学5年生④友達ややっているのを見て、かっこいい、楽しそうと思って。⑤バックスイ大⑥一生懸命⑦どんなことでも積極的に取り組んでいきたい。⑧皆さんが応援してくれたおかげで頑張ることができました。ありがとうございました。

空手 あれこれ 談話 (十二)

山形県空手道連盟会長 飛鳥 宗一郎

「べにばな国体」の意義(三) 大会の日を迎えるまで(その二)

昨年に引き続き、この項目の二回目です。今さら、なぜ「べにばな国体」(第47回国体)なのかと思うでしょうが、日本体育協会理事会で山形県が「第47回国体開催申請書」提出県として了承されたのは昭和56年(1981年)で、この年の「びわこ国体」(滋賀県)で初めて空手道が国体種目になり、当県選手が二種目に入賞した。

それまで県連の歩みは、未だ発展途上かの思いは隠せない。

国体開催準備を経て何を求められるのか、何を残せるのかが思案の始まりだった。

目標は、種目総合優勝と競技運営の成功で、目標達成に向けて施策の基本としたのは、全役員「協心一致」の精神だった。

様々な要件が幸いし、終わって抱いた達成感の後世に残せる財産となつて今の活動につながり、互いに高め合いながら築いた成果は、長く語り残さなければならぬのである。

「べにばな国体」が終って15年目から、こ



↑4面のコートで熱戦が繰り広げられた

のシリーズを書きはじめたのは、これ以上歳月が経過すれば筆者の記憶も薄れがちになり、読者の思いとも掛け離れてしまうことを恐れたからである。

実態はいかにあったかを書くことで、「協心一致」の行動が理解されるだろうと思っただからである。

11 大会時練習場の確保

他県等選手の練習会場は「サブアリーナ」だが、本県選手団の専用練習場が必要との考えから、会場と棟続きのプール2階「会議室」2室の使用を申請したところ、既に総合開閉式式儀事の用品置場と「出演者控室」として決定したこと。県当局の代案は、テニスコートの「クラブハウス棟」でした。体育館外で遠く用をなさなため、この案は否めなかった。

理事の齋藤知行氏(現副理事長)は県国体局で総合開閉

会式を担当していた。大会も後1週間とせまり、他県等選手と一緒に仕方ないかと諦めかけていた時、齋藤氏の尽力でプール2階「会議室」2室が確保できたと朗報が入ったのです。

1室にはマットを敷き、もう1室を待機休憩の場所にした。これをもって他県選手と必要以上の接触は回避され、期間中集中可能な条件は整った。

大会前日から、練習補助選手と形試技選手を交えて使用してきたこと、齋藤氏には今も感謝の気持ちで一杯です。

選手たちの疲労は、遠征と猛練習で極限に達し、完全身体者は一人もいなかった。大会期間中、この場所にスポーツ鍼(はり)治療師とリハビリの先生を配置できたのです。

12 役員の服飾等

競技役員制服は7月中旬にサイズ合わせを行ない、特注ボタンに付け替え、ネクタイも天童市統一でなく、独自デザインを考案し発注した。審判員もこのネクタイを着用し好評を博した。

ところが、開催3日前に全空連から電話があつて、「全空連派遣役員7名の制服はどうなっているか」とのこと。

派遣役員のことは全く念頭になく失念していた。急遽電話で各人のサイズを問い合わせ、既製服量販店に走った。見本を見せ、これに近いブレザー

を明日までサイズごとに揃えられないか折衝したところ、販売店は了承した。続いてボタンを電話で発注、スポーツ店でシューズを確保した。前日夜に天童市内の仕立屋さんポタンの付け替えを頼み、夕食後に宿舍ホテルに届けてセーフとなった。

今でも、この時のブレザーコートやネクタイを愛用している県連役員を見かけると、なぜかホッとした気分になる。

県内の競技役員から、これら服装等について半額の個人負担をお願いした。

13 事前合宿と宿舍

天童市は、総合開閉式・開会式、空手道の他に陸上競技、ライフル射撃と3種目が割り当てられており、温泉旅館は大会・競技役員と陸上競技選手団と決まり、空手道選手団はビジネスホテルだった。

本県選手団は天童駅前の「都旅館」を借り切り、9月28日(土)から事前合宿に入り、10月8日(水)朝までの長期滞在と決めた。長丁場でしたが、女将さんの計らいで食事の嗜好や変化に配慮していた。旅館の最上階には板敷きのフロアがあつて、軽い調整が出来る好条件であった。

14 全空連の支援

各部門を大過なく対策できた原因の一つに、全空連の支援があつたこと特筆しなければならない。

当時の専務理事は、若林英一氏(故人)でした。開催5年前は、「県総合運動公園」の敷地は荒地同然で未だ設計図の段階のころ、最初の会場地視察に訪れたのを皮切りに、何度となく現地指導に訪れ、その都度懇切丁寧にアドバイスをされ安心感を与えられた。勿論、指導を受けたのは若林氏だけでなく各部門の方々、例えば当時の事務局長澤部滋氏、「全空連事務局等」、「選手強化委員会」、「審判委員会」などである。

15 近県の協力

宮城県チームとは、距離も近いことから6年前から練習交流を行なった。当時、宮城県強化スタッフに第5回全日本選手権大会(昭和51年10月)男子個人戦優勝者の森俊博氏がいた。森氏のアドバイスは、説得力を持ち選手たちには好影響を及ぼした。

前年の東北地区協議会総会では、東北最初の二巡目開催「べにばな国体」に対し、各県が広告協力などにより支援すると決議された。

3年後の開催が決定している福島県下郷町からは、職員5名を実地訓練のため参加させてほしいと要請あつて、競

技役員として共に従事した。私は「べにばな国体」の後、翌年の「東四国国体」、翌々年の「愛知国体」の強化と運営のアドバース指導に招聘された。東北でも平成7年の「福島国体」、平成13年の「宮城国体」、一昨年の「秋田国体」の対策に携わった。依頼あったとはいえ、世話になった各県に対し恩返し気持ちからであった。

16 県外との交流

最初に目的を持って遠征したのは、昭和58年の山梨県だった。山梨県の国体開催はその三年後昭和61年で、強化の真っ只中、緊迫した対策がなされていた。その後も数回出て、運営と財源確保など併せて学ぶことできた。

大学空手部は日本大学で、当県の指導者や選手の中に卒業生がいたこと、在学部員にも県内出身者がいて好都合だった。「べにばな国体」2年前から、同部監督の田邊文博氏（当時）が専任コーチに就任した。合同合宿の実施、選手構想の助言、全国的な情報収集に手助けをいただいた。開催が近づくとしたがい、来県する他県チームも増え、香川県、山梨県、神奈川県、群馬県、宮城県など、数回ずつの訪県を受けた。当方も可能な限り日程調整し遠征に出たが、特に千葉県では東京都、大阪府の他8県ほどが定期的に集結して交流試合を実施し

た。

形選手の場合、前年10月から林 輝男先生（林派系東流会宗家、故人）に指導を依頼し、隔月の来県指導の他、大阪市に遠征して強化に努めた。

開催年には、他を凌駕する実力が養成され、難儀を乗り越えて頑張った選手と監督の奮闘を

17 競技記録のパソコン処理

国体の記録集計は全て手作業で行なわれていたが、当県ではパソコン処理が可能と判断し、形・組手両競技に採用すると決め、全空連の承認を得て開発し、総合成績計算委員の菅原好英常任理事（当時）が担当した。

このシステムは、記録集計の正確化と迅速な処理に効果を挙げ、全空連から評価され、当方が承諾して以後の国体開催に引き継がれた。

18 大会のリハーサル

前々年8月の第17回東北総体が最初で、前年6月の第13回東北高校選手権大会は、正規のリハーサル大会と位置付けられた。

県当局の指示でリハーサルが二段構えとなったのは、東北で二巡目最初の開催という責任感からだっと思う。

開催年は、県選手権大会を中止し、8月9日の第10回県ジュニア選手権大会を独自の最後訓練とし、団体戦を除き国体と同じ8種目、選手数を

47名として、本番さながらの訓練と点検を行なった。

都合3回のリハーサル訓練により、万全を期すよう取り組みました。

19 連絡網のつな

各部署ごとに連絡網を敷いたが、私の場合は1か月前にドコモの携帯電話契約をした。当時は、待受け時間での乾電池消耗が激しく、単3乾電池を沢山持ち歩き、一回で6本の入れ替えだった。役員や業者との連絡など便利に活用した。携帯契約は他の役員分も考えたが、不要だとの意見が多く私だけになったものです。今では携帯電話なしでは外出もままならないので、時代の進歩発達は隔世の感を感じる。

20 少年演武の取り組み

空手道競技会の前例として3日間の中で開催地の地元芸能と、空手道演武が行なわれていた。「べにばな国体」では、初日に天童市民による「高嶺獅子踊り」と「花笠踊り」を披露し、二日目は空手道演武と決まった。

少年選手による基本、形及び約束組手の演武を行なうこととし、3年生から中学生まで2000名を目標に募ったところ、17団体から232名の希望があつて、参加団体から指導担当者を指名し、指導者と出場者は記念の空手衣を新調、胸には「べにばな国体」の文字、揃いの「鉢巻」を締

めて出演することにした。これら購入経費の補助を行い、菊地健治理事（現副理事長）を主任としました。

開催年の6月を最初に、都合8回の練習を実施しました。

21 対策財源の確保

県連総会では、種目総合優勝を勝ち取ること、併せて競技運営も滞りなく有終を飾りたいと確認しました。

県競技力向上対策本部や県体協からの強化補助金は各年度で達達され、同じく県国対局から競技運営補助金が交付されました。天童市からも競技運営経費の配算がありましたが、総合開閉会式の他に、陸上競技とライフル射撃、そ



↑ 出場選手壮行式 いざ出陣！

れに空手道と三競技を担当する事情から、競技役員制服の一部補助に止まりました。独自財源の造成が必要と提案したのは昭和60年1月（1985年）の総会で、これを「国

体対策基金」としました。この時は、理事長を委員長として目標額を1000万円とし、加盟団体と役員の負担金、大会参加費に加えた協力金でした。経過を見ながら早期に「使用計画書」を策定し、必要に応じて見直しを図ることでした。二年後の総会で50%の増額を決めて取り組みました。

その後、平成2年の総会で「国体対策本部」が設置され、中に財務委員会が置かれ佐藤博副理事長（現常任相談役）が委員長に選任されました。

財務委員会設置後は、基金の管理、用途の承認など全て委員会でも処理されました。先催の県実態などを調査しながら、大会2年前の7月に臨時総会を開催、基金増額として各団体拠出金とプログラム広告協賛金獲得の活動を行なうと決定し、金額は1000万円の増額でした。プログラム広告も順調に集約され、これをもって臨戦態勢と総行動を可能とする基盤が築かれたのです。役員の行動と企業等の厚意は、未永く記憶にとどめなければなりません。

22 総合開会式

10月4日は晴れだった。10年余の準備期間を経て、待ちに待った「べにばな国体」は開催日を迎えた。午後から総合開会式が予定され、わが選手団は10時に宿舎を出発し、

開会式会場の県総合運動公園陸上競技場に向かう。選手団を迎えたのは、顔なじみの各県の選手達。「山形県まで来たよ」と声を掛けてくれる。今までと違い迎える側の気持ちは、勝たなければと思う重圧感と併せて感じたという。午前中既に陸上競技場周辺は人並みに埋め尽くされ、スタンドが異様に大きく感じられた。午前9時からセレモニーが始まっており、私は入場整理券を提示し、林 輝男先生（平成16年没）と一緒に10時過ぎに入場する。さまざまイベントも結構趣向を凝らしていたと思う。いずれも、素朴ながら心のこもった演出が見もので、テーマソングの「風にむかって翔べ」も最高だった。

入場行進を見ないで競技場を出て、気になる体育館に向かう。そこには明日の競技会を待つ競技役員スタッフが、最後の準備に大わらわである。「大丈夫ですか。遺漏ありませんか」といちいち聞いて回るのが、皆が「万全です」と答えてくれる。宿舎の「ホテル王将」に帰りテレビを見ると、丁度天皇陛下に発炎筒を投げつけた無頼漢の場面、皇后陛下が天皇陛下を庇う仕草がやけに目に焼きついている。後々まで語り継がれた場面である。

チャレンジ！おおいた国体

県選手団かく戦えり

監督 遠藤 隆夫

とき／平成20年10月4日(土)～6日(月)
場所／大分県中津市総合体育館

「試合内容と今後の課題」

1 少年男子形

土田秀成(新庄北高校)

《1回戦》

宮崎(大分) 3-0 土田

1回戦から地元大分の選手(優勝者)と対戦。演武したセー

バイに本来のキメやキレが見

られず、完敗であった。土田

は東北総体後、膝の靭帯炎症

から1ヶ月間充分な稽古が出

来なかった事が理由として上

げられる。土田は自由形ア

ナンを得意にしているが、予選を指定形で勝ち抜かなければ、その形を演武する機会は無くなる。今後は指定形に重点をおいてもらいたい。

2 少年女子形

佐々木梓(天童高校)

《1回戦》

高橋(宮城) 1-2 佐々木

《2回戦》

坂口(岐阜) 2-1 佐々木

2回戦は第二指定形、岐阜・坂口のマツムラローハイに対して佐々木はクルルンファで勝負を挑むが、微妙な旗判定の結果1-2で借敗し念願のベスト8進出ならず。佐々木はまだ1年生であり、今後、指定形のみならず最低二つの自由形をしっかり打てるように精進してもらいたい。

3 少年男子組手

浅野允玲(東海大山形高校)

《1回戦》

加藤(岐阜) 5-10 浅野

《2回戦》

水杉(三重) 0-4 浅野

《3回戦》

岡村(鳥取) 8-12 浅野

《準々決勝》

石井(福島) 10-2 浅野

ベスト4をかけた準々決勝は過去に何度でも対戦したことがある福島・石井との戦い。スピードで上回る石井に対して浅野は如何ともすること

が出来ず2-10で完敗。しかしながら不振に喘ぐ県勢の中で唯一のベスト8入りは賞賛に値すべきである。



▲少年男子組手第5位/浅野允玲選手

得意の上段突きでポイントリード、中盤までは接戦ながら終始リードを保っていた。本人談ではポイントが6-4で勝っていた時、勝利を確信したと話す。しかし一瞬の気の緩みで、勝利の女神が逃げていくのを齋藤は身を持って体験したはずである。地力では齋藤が勝っていただけに惜しい敗戦であった。



かった。原因は？加藤は成年男子組手軽量級にも出場の為減量苦に喘いでたのは確か。加藤には減量を気にすることなく形の練習に傾注して、往時の形が打てるようになってもらいたい。

6 成年女子組手

渋谷紗季(日本大学)

《2回戦》

坂本(岩手) 2-3 渋谷

《3回戦》

辻村(香川) 6-0 渋谷

2回戦からの出場に対戦相手は今年の東北総体でも対戦したことがある岩手・坂本。結果の点差では接戦を制したかのように思われるが、内容は圧勝であった。3回戦は試合巧者との対戦で、渋谷は全く試合をさせて貰えなかった。技は全く相手に届いておらず、攻撃をかわされ反撃されるパターンで完敗。上位を目指す為には、フレキシブルな対応が出来れば必要。

7 成年男子組手

加藤葵(帝京大学)

《2回戦》

真島(長野) 8-0 加藤

2回戦からの出場。加藤は減量を迫られ、試合当日まで菜食だけの食事制限をしなければならなかった。当然試合内容も精彩がなく完敗。加藤は今回減量苦のせいか形も組手も軽い感じがする。やはり形と組手の両立は無理なのか？結論は自分自身で悩み解決しなければならぬ。

8 成年男子組手

中量級 伊藤翔

(山形県農業共済連合会)

《1回戦》

宮崎(秋田) 14-11 伊藤翔

序盤からポイントの取り合いでシーソーゲームを展開！中盤リードしたものの、終盤は一方的な展開となり押し切られる。伊藤は今年、社会人になったが、学生時代の貯蓄だけで組手試合を勝てるほど甘くないのは自覚しているはず。この結果を伊藤が「臥薪嘗胆」と感じてくれたならば今後も期待できる。

9 成年男子組手

重量級 原田昇平(日本大学)

《1回戦》

堂前(広島) 9-11 原田

原田の力を発揮出来ずに9-11で完敗！今後原田には本県重量級を牽引して行くという自覚が欲しい。それには原田自身が大学での猛練習に耐え一流選手を目指すという貪欲さを持たなければならぬ。

10 団体戦1回戦

《1回戦》

宮城県 3-11 山形県

今年より団体戦は少年男女と成年女子を加えた混成団体戦となった。

対宮城の作戦では、先鋒：少年男子と次鋒：成年女子で2勝すれば勝機もあると考えたが、渋谷が孤軍奮闘して1勝を上げただけで敗退した。



岩佐(鳥取) 10-7 齋藤

4 少年女子組手

齋藤友貴(南陽高校)

《1回戦》

岩佐(鳥取) 10-7 齋藤

2回戦からの試合で加藤は第二指定形セーサンを演武！残念ながら加藤のセーサンからは那覇手特有の重厚さもムチミも感じ取ることは出来な

5 成年男子形

加藤葵(帝京大学)

《2回戦》

玉城(奈良) 3-0 加藤

2回戦からの試合で加藤は第二指定形セーサンを演武！残念ながら加藤のセーサンからは那覇手特有の重厚さもムチミも感じ取ることは出来な

指定形講習会 及び 公認段審査会

【指導者講習会】

普及部が実施する事業の一つである講習会は、平成20年4月20日山形市スポーツセンターにて開催されました。県強化本部長である遠藤隆夫先生の指導のもと第二指定形「マツムローハイ」「コーパイポ」を学びました。

限られた時間でしたが、指導方法も分かりやすく、受講生も熱心に受講されておりました。普及部としては、今後とも各種の講習会を開催して空手道の普及、向上に努めて行きたいと考えておりますので、会員の皆さんの積極的参加を希望いたします。

【県公認段位合格者】

■春季公認段審査会
平成20年5月11日
山形県武道館

佐藤孔紀 和道会遊佐
伊藤正樹 崇武館本部
藤原理恵 崇武館本部
大沼智里 崇武館本部

■秋季公認段審査会
平成20年12月7日
県総合運動公園剣道場

金野勝彦 和道会遊佐
本多 洋 和道会遊佐
池田勝義 和道会遊佐
三戸部秀雄 崇武館本部
石井宏之 嵐
板垣幸治 深瀬道場
池田 将 崇武館本部
武末耕平 崇武館本部



高校・一般の部

一般初段

土田秀成 崇武館新庄
伊藤 謙 崇武館新庄
斎藤汐理 南陽高校
志藤美里 南陽高校
佐藤 桂 天童高校
小野大樹 天童高校
井上大輔 崇武館新庄
伊藤巧貴 崇武館新庄
成澤正和 酒田南

一般貳段

佐藤孔紀 和道会遊佐
伊藤正樹 崇武館本部
藤原理恵 崇武館本部
大沼智里 崇武館本部

一般参段

金野勝彦 和道会遊佐
本多 洋 和道会遊佐
池田勝義 和道会遊佐
三戸部秀雄 崇武館本部
石井宏之 嵐
板垣幸治 深瀬道場
池田 将 崇武館本部
武末耕平 崇武館本部

少年の部

少年初段

伊藤奨馬 余目空友会
伊藤 秀 崇武館新庄
仙台充功 崇武館新庄
元木 貴 崇武館新庄
土田秀治 崇武館新庄
小野菜幹 余目空友会
後藤勇崇 余目空友会
川野美波 尾浦空手道入部少
阿部拓美 尾浦空手道入部少

少年貳段

小林穂薫 崇武館新庄
国分円香 崇武館新庄
坂上 愛 崇武館新庄
叶内奨也 崇武館新庄

【県公認審判員合格者】

府野健次
高橋勇一
佐藤道幸
伊藤いずみ



山形県空手道連盟 公式ホームページ 更新中！

県連の最新情報をお伝えします。

■昨年4月1日よりホームページを開設。これまでのアクセス件数は、一万件を超え着実に利用されて来ています。連盟の沿革・役員名簿・組織図・大会や講習会の案内・行事予定・各種大会の成績・加盟団体一覧など、各種の情報を素早く、かつ的確に把握できますので、会員および父兄の方々にも周知してさらに活用されるようお願いします。



<http://yamagataken-karatedo.jp/>

平成21年度 事業・行事計画

日 程	事 業・行 事	場 所
1 / 23 (金) ～25 (日)	第22回東北高校選抜大会	山形県総合運動公園体育館
2 / 1 (日)	山形県空手道連盟定例総会	山形県スポーツ会館
3 / 1 (日)	第4回 樹氷杯ジュニア選手権大会	天童市スポーツセンター
3 / 21 (土)	平成20年度 東北地区公認段位審査会	仙台市武道館剣道場
3 / 22 (日)	平成20年度 東北地区審判員講習会・審査会	仙台市武道館剣道場
3 / 24 (火) ～26 (木)	第28回 全国高校選抜大会	東京体育館
3 / 27 (金) ～29 (日)	第3回 はまなす杯全国中学生選抜大会	北海道北広島市総合体育館
4 / 26 (日)	山形県審判員協議会総会／講習会・審査会	山形市総合スポーツセンター
4 / 29 (水)	第7回 東北学生個人選手権大会	宮城県武道館
5 / 4 (月) ～5 (火)	第25回 火の国旗全国高校優勝大会	熊本市総合体育館
5 / 5 (火)	第45回 東日本学生選手権大会	日本武道館
5 / 9 (土)	村山地区高校総体空手道競技	東海大学山形高校
5 / 9 (土)	飽海地区高校総体空手道競技	酒田南高校
5 / 10 (日)	第38回 県社会人選手権大会	山形県武道館剣道場
5 / 10 (日)	県公認段位審査会	山形県武道館剣道場
5 / 17 (日)	第12回 東北中学生選手権大会	宮城県武道館
5 / 24 (日)	第31回 山形市選手権大会	山形市総合スポーツセンター
5 / 31 (日)	第9回 全日本少年少女選手権大会 山形県予選会	山形県総合運動公園
5 / 31 (日)	第17回 全国中学生選手権大会 山形県予選会	山形県総合運動公園
6 / 7 (日)	山形県高校総体空手道競技	山形市総合スポーツセンター
6 / 21 (日)	東北大学総体空手道競技	福島大学
6 / 26 (金) ～28 (日)	第31回 東北高校選手権大会	仙台市青葉区体育館
7 / 5 (日)	第26回 山形県ジュニア選手権大会	山形市総合スポーツセンター
7 / 12 (日)	第64回 国体・第36回東北総体山形県予選会	山形県総合運動公園
8 / 4 (火) ～7 (金)	第36回 全国高校総体(インターハイ) 空手道競技	兵庫県姫路市・兵庫県立武 道館
8 / 7 (金) ～9 (日)	東日本医科学生総合体育大会空手道競技会	山形県総合運動公園
8 / 8 (土) ～9 (日)	第9回 全日本少年少女選手権大会	東京武道館

日 程	事 業・行 事	場 所
8 / 21 (金) ～23 (日)	第36回 東北総体空手道競技会	青森市
8 / 29 (土) ～30 (日)	第17回 全国中学生選手権大会	福岡県・北九州市立総合体 育館
9 / 5 (土)	東北地区地域スポーツ指導者講習会	仙台市武道館
9 / 12 (土)	村山地区高校総体秋季大会(新人戦)	天童高校体育館
9 / 12 (土)	飽海地区高校総体秋季大会(新人戦)	酒田南高校
9 / 12 (土)	日本スポーツマスターズ2009空手道競技会	静岡県藤枝市・静岡県武道館
9 / 20 (日)	第42回 山形県空手道選手権大会	村山地区
10 / 2 (金) ～4 (日)	第64回 国民体育大会空手道競技会	新潟県燕市民体育館
10 / 3 (土)	第8回 東北大学選手権大会・新人戦	宮城県武道館
10 / 4 (日)	第17回 山形県少年少女スポーツ交流大会	天童高校体育館
11 / 7 (土)	山形県高校新人大会	山形市総合スポーツセンター
11 / 8 (日)	第20回 山形県ジュニア選抜選手権大会・全中選抜県予選会	米沢市営体育館
12 / 6 (日)	県審判講習会・公認段位審査会	山形県総合運動公園剣道場
12 / 11 (金)	公認称号及び推薦段位審査会	日本空手道会館
12 / 11 (金)	全空連理事会・評議員会	日本空手道会館
12 / 12 (土)	第37回 全日本選手権大会(団体戦)	東京武道館
12 / 13 (日)	第37回 全日本選手権大会(個人戦)	日本武道館
12 / 25 (金) ～27 (日)	第17回 河北杯全国高校選手権大会	仙台市

平成22年度

1 / 22 (金) ～24 (日)	第23回東北高校選抜大会	仙台市宮城野区体育館
2 / 7 (日)	山形県空手道連盟定例総会	山形県スポーツ会館
2 / 28 (日)	第5回 樹氷杯ジュニア選手権大会	山形市総合スポーツセンター
3 / 6 (土)	全空連・東北地区協議会定例総会	仙台市
3 / 7 (日)	全空連・東北地区協議会技術講習会	仙台市武道館
3 / 25 (木) ～27 (土)	第29回 全国高校選抜大会	宮城県利府町・グランディ21
3 / 27 (土) ～29 (月)	第4回 はまなす杯全国中学生選抜大会	北海道北広島市総合体育館

※日程、場所等は変更になる場合があります。要項やHPを確認してください。